

# 出前授業を通じた地域密着型キャリア教育活動

## 2040年問題を見据えた地域密着型人材確保を目指して

### I.研究目的

私たちは2040年に訪れる深刻な高齢化・働き手不足への対応として、地域の小学校へキャリア教育を目的とした出前授業を実施することとした。2022年から活動を開始し現在では周辺自治体からも声をかけていただけるまでの活動となったため活動内容を報告する。

### II.研究方法（倫理的配慮含む）

出前授業の進行は授業を行うスタッフの自己紹介や施設紹介、人工呼吸器やベッドサイドモニターを用いた体験学習、アンケート回答を含めた45分間の授業構成で実施し、授業内容は文部科学省によるキャリア教育の定義をベースに5つのねらいを設定し授業構成とした。

### III.結果

2022年から毎年途切れることなく延べ300名以上の児童へ出前授業を実施することができた。また、今年度は近隣自治体から直接病院へ依頼をいただくことができ、4校の実施希望をいただくことができた。

### IV.考察

私たちが実施しているキャリア教育を目的とした出前授業は多くの教育現場でニーズが高いと推察される。ニーズが高い背景として2017年から学習指導要領に小学校におけるキャリア教育の充実を図ることが明示され、医療現場で働くスタッフの勤労観に触れる機会は学校側としてはとても貴重な体験と感じていただけている。

### V.結論

地域密着型で行うこの出前授業はキャリア教育を実施したい地域の教育業界と人材を確保したい医療業界においてとても有効な取り組みであると考えます。これから訪れる2040年問題に向けて地域の医療が途切れないよう活動を継続していきたい。